

白川風土記

巻完

和書門			
二九一八三	號	函	架
三六	冊		

内閣文庫			
二九一八三	號	函	架
三六	冊		
二七四	函		
二二	架		

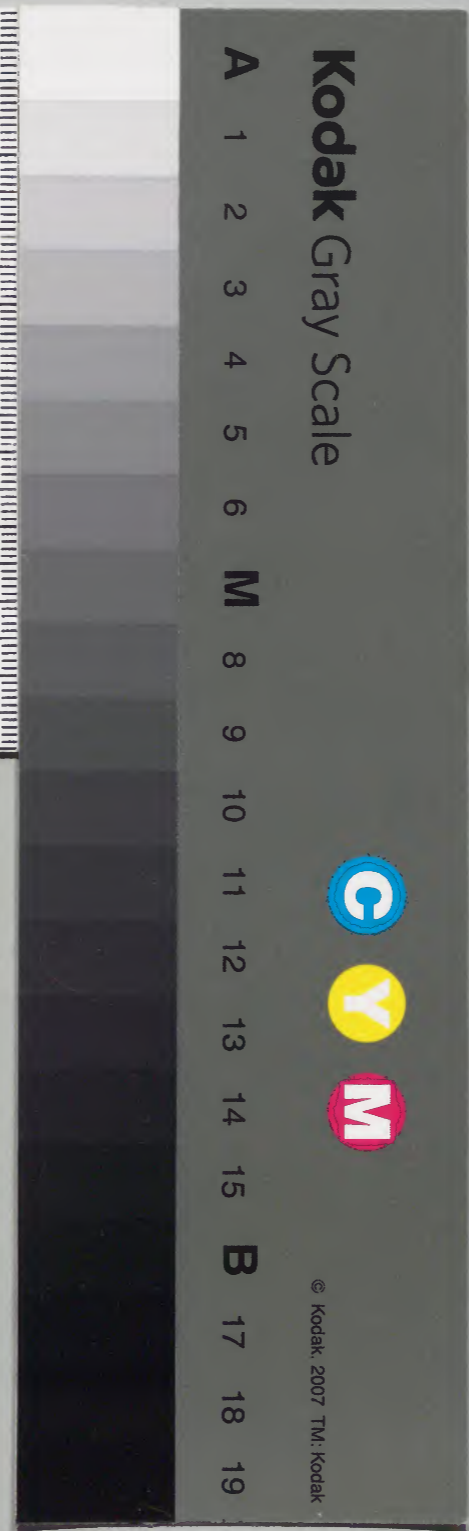
(二廿六)

十九



内閣文庫	
番號	和 29183
冊數	36 ( 22 )
函號	174 287

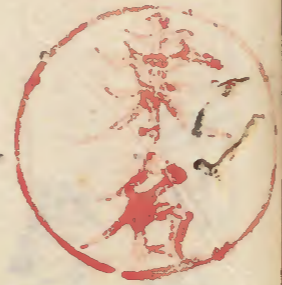
地三七  
内一〇九六號



綴じ部(喉部分)の文字など開きが不鮮明な箇所あり



關三



白川風土記稿

越後川羽  
郡之部五

十九



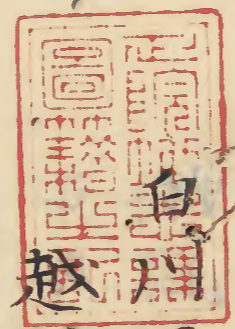
内一〇九六〇號



白川風土記

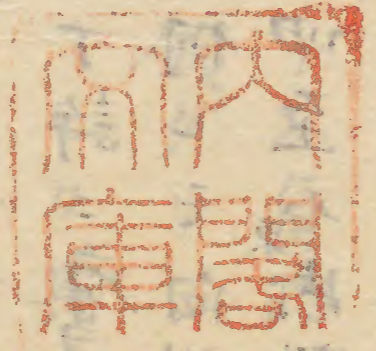
卷之十九

十



風土記卷之十九  
羽郡籍石庄北條郷

長鳥村



拍崎陣屋ヨリ東ノ方三里二十五丁ヨリ村長  
サ東西十五丁南北三十二丁ノ内ニ小村十二ヶ  
所ニ家居ス中村ト云所其中央ナリ餘十一ヶ村  
ノ方角丁敷ハ此村又根元トスル中村戸数二十  
二軒是ヨリ申ノ方四丁許ニ山本戸数二十九軒  
又末ノ方三丁許ニ浦村戸数十五軒又寅ノ方四



丁許ニ花田戸教二十四軒又辰ノ方三丁許ニ竹  
天下戸教十六軒又卯ノ方十三丁許ニ岩野入戸  
教七十五軒又寅ノ方十五丁許ニ大角間戸教六  
十五軒又子ノ方十一丁許ニ杉野入戸教廿七軒  
又子ノ方十二丁許ニ市野口戸教十四軒又亥ノ  
方十丁許ニ峠戸教十五軒又子ノ方廿丁許ニ復  
渡戸教二十七軒又子ノ方三十丁許ニ鷹巣戸教  
廿八軒合テ戸教三百五十七軒何レモ向背ヒト  
シカラス是ヲ總テ長鳥村ト云 四至ハ<sup>東</sup>御料所塚  
野山村ハ一里半西ハ矢田村吉井村ハ一里南ハ

御料所廣田村ハ十丁北ハ御料所成沢村ハ十八  
丁イワレモ地界入交リ分明ナラス貞治年間越  
後國一統上杉左近將監憲<sup>松本</sup>領タリシニ旗下  
毛利丹後守ハ北條村ノ城主ナリシカ其時毛利  
家ニ元開祭セシ所ト云毛利氏亡シテヨリ上杉  
家ノ本領トナル慶長三年景勝封ヲ奥列會津ニ  
移サレシヨリ豊臣家ノ換地有テ堀久太郎秀治  
ノ領トナル同十五年ヨリ越後少將忠輝卿ノ領  
元和二年ヨリ牧野駿河守領同六年ヨリ松平伊  
豫守領寛永元年ヨリ松平越後守領天和元年ヨリ



リ御料所貞享三年ヨリ稍葉丹後守領元禄十四  
年ヨリ又御料所正徳元年ヨリ當領トナル當村  
八魚沼郡長岡十日町等ノ街道ナリ  
高札場一个所中村ニアリ  
官ヨリ令セラルル処ノ掟條目ヲ掲ク  
山川  
岩野入ニ塩水井戸  
岩野入ニ五里往古弘法大師ノ加持ニヨツテ涌  
出ルト云イカナル炎天ニモ涸ル下ナシ飲ニ  
味最佳ナリ民家常ノ塩ニカヘテ用ヒ來ル丁久シ

温泉

花田ニアリ至テヌル外今浴スル人ナケレハ其  
効験ヲシテ不ト云

倉廩

御藏一个所

中村ニアリ事ハ曾地村御藏ノ次茅ニ同茂酒

神社

熱田社社地東西廿間

山本ニアリ祭ハ四月朔日ナリ  
村支配

社小祠ナリ



鳥居 高サ一丈五尺幅九尺

石動社 社地東西七間 村支配

浦村ニアリ祭ハ八月廿四日 村支配

社石ノ小祠ナリ 村支配

白山社 社地東西七間 村支配

中村ニアリ祭ハ八月十六日 村支配

社九尺四方 村支配

若宮社 社地東西四間 村支配

花田ニアリ祭ハ八月朔日 村支配

社小祠ナリ 村支配

十二神社 社地東西五間 村支配

竹ノ下ニアリ祭ハ三月十三日 村支配

社小祠ナリ 村支配

熊野社 社地東西四間 村支配

岩ノ入ニアリ祭リハ三月十八日 村支配

社小祠ナリ 村支配

八幡宮 社地東西十三間 村支配

大角間ニアリ祭ハ三月十五日 村支配

社二間ニ九尺 村支配

鳥居 高サ一丈一尺幅九尺 村支配



高五社明神社 社地東西十間 村支配

杉ノ入 三月十四日 村支配

社小祠十リ 三月十四日 村支配

十二神社 社地二間 村支配

峠ニアリ茶師堂境内ノ続ニアリ祭四月八日

社石ノ小祠十リ 社地東西八間 村支配

諏訪社 社地東西十五間 村支配

復渡ニアリ祭ハ三月二十七日

社石ノ小祠十リ 社地東西五間 村支配

諏訪社 社地東西五間 村支配

鷹鷲ニアリ祭リ三月十八日 社地東西十間 村支配

社小社十リ 社地東西十間 村支配

佛場

阿弥陀堂 境内東西十間 村支配

山本ニアリ縁日正月十五日

堂一間三尺二間四尺木尊石佛立像長ケ一

尺五寸

阿弥陀堂 境内六間 村支配

大角間ニアリ縁日正月十五日

堂二間三尺二間木尊木佛立像長ケ八寸



堂 二間 地藏堂 境内東西八間 南北六間 村支配

大角間ノ南ノ方ニアリ録日三月廿四日

堂 二間 三尺ニ二間 本尊木佛坐像長ケ八寸五

分五下

藥師堂 境内二十方 村支配

昨ニアリ録日四月八日

堂 三間 三尺ニ三間 本尊木佛立像長ケ一尺一

寸五分

觀音堂 境内四方 村支配

鷹鳥巢ノ東一丁許ニアリ録日三月十八日

堂 三間 三尺ニ二間 本尊木佛坐像長ケ九寸五

分

寺院

能満寺 境内東西十二間 南北十六間

杉ノ入ノ家居ノ東ノ方ニアリ禪宗ナリ山羅ヲ

長昌山ト云文明元己丑年臨濟天庵長老ノ開基

ナリトソ其後天文元丙辰年ニ曹洞宗ノ僧仙庵

再興ス夫ヨリ今ニ到シリ本寺ハ同郡御料所善

根村ノ浄慶寺ナリ

客殿 七間 三尺ニ九間 三尺蓋菅本尊虚空藏菩薩



薩木佛坐像長ケ一尺

庫裡 三間ニ六間三尺葺菅

門前 一軒

真珠院

境内東西廿一間

三尺

山本ノ家居ノ西ノ方ニアリ真言宗ニテ山号ヲ

妙廣山寺号ヲ延年寺ト云永享六年甲寅法藏ト

云僧ノ開基ナリ本寺ハ同郡寺尾村ノ善照寺ナ

リ

客殿 六間三尺ニ八間三尺葺菅本尊延年地藏

菩薩木佛坐像長ケ一尺三寸

庫裡 四間ニ十一間三尺葺菅

來宝院

境内東西九間

時ニアリ當山派ノ修驗ナリ寛永五年仙学ト云

一ル山伏京師ニ上リ三宝院宮ニ請テ今ノ院号

ヲ許サレキ觸乃ハ同郡中田村ノ高正院ナリ

家宅 三間ニ五間本尊不動尊木佛立像長ケ一

尺

熊野権現社杉ノ古木ヲ神体ト崇メ祭リ社ナシ

社地東西九間南北五間ニシテ來宝院カ境内ト

混シテアリ



産物

十三ノ通り四ノサケ

蕨

松

杉

立

間

...

...

...

免除地

能満寺

真珠院

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]*

川羽郡 鯖石庄 北條郷

山澗村

柏崎陣屋ヨリ

卯ノ方

行程

二里

三十丁

...

...

...

是ヲ東西八丁

二十間

南北五丁

許

戸數

七十二軒

...

...

...

四至東ハ御料所

廣田村

ハ二丁

許

西ハ

畔屋村

...

...

...

ハ廿三丁

許

南ハ

小嶋村

ハ十丁

許

北ハ

矢田村

...

ハ廿五丁

許

地場

他領

入交

リニテ

詳ナラ

ス

自治

年間上杉家ノ

旗下

北條村ノ

古城主

毛利丹

後守

...

...

...

ノ領夕リ

シカ

毛利氏

康七ノ

後春日

山附ノ

才領

...

...

ト十八慶長三年

ヨリ

後元禄

十四年迄

ノ

領主

是

...

...



鳥村三同元禄十四年五月戸田能登守領此  
正徳元年ヨリ當領下ナル春日山田  
高津川  
打ヨリ北流所十下詩はアル山溪詩ヨリ出ル  
小川ナリ  
温泉二ヶ所  
村ヨリ良ノ方山間ニ登リ何ノ病ニ駿ニアリ  
ト云丁モナキ  
浴スル人モナシト

橋梁

橋三ヶ所  
宮ノ下橋共ニ長カ四間三尺幅四  
尺字廣兼橋長カ四間幅四尺三个所共ニ村内ヲ  
流ル山沢ヨリ出ル所ノ小川ニ架ス村内往及  
ノ通用橋ナリ  
小橋五ヶ所  
村四方ノ耕地ノ内字竹ノ花ハ荒城十ヶ橋  
マガ夕ノ亦千田ト云五ヶ所ニアル小サキ板橋  
ナリ



井堰

堰三个所

村ヨリ北ノ方十下許ニ高津川ヲ幅十間三尺許

ニ堰タル是ヲ次郎丸堰ト云餘ノ二个所ハ田所

ノ細流ヲ堰ク一个所ハ字ウクヲ田今一个所ハ

字ヨシト云共ニ當村ノ用水堰ナリ

溜三个所

字ドウニ溜ハ村ヨリ己ノ方十下許ニアリ字鼠

田溜字古山平ト云小ナキ溜二个所ニアリ

神社

八幡宮 社地東西十間 村支配

村内ニアリ祭リハ九月十五日

社ヨリ九尺三七尺 社地東西十二間 村支配

五霊社 社地東西十二間 村支配

村内ニアリ祭リハ九月九日

社ヨリ九尺三六尺 社地東西十間 別當念佛寺

春日社 社地東西十間 別當念佛寺

村内ニアリ祭リハ九月十九日

社ヨリ九尺三六尺

佛場

佛場 社地東西十間 別當念佛寺



阿弥陀堂 境内東西八間 南北十三間 別當念佛寺

村内三ツリ 録日卜定ムル日ナシ

堂六尺ニ七尺本尊石佛坐像長ケ一尺六寸

此外ニ阿弥陀堂ト唱ル境内村内ニ二ヶ所ナ

シ凡本尊モナシ然レ氏以前免除地トナリ一

ヶ所ハ東西北八間今一个所ハ東西北六間ノ境内

ナリ

虚空藏堂 境内東西十間 南北八間 村支配

村内ニナリ 録日三月十三日

堂六尺四方本尊木佛立像長ケ一尺

寺院

念佛寺 境内東西廿間 南北十五間

村内ニナリ 天台宗ナリ 歸命山無量院ト云 天正

十丑辛亥年清上人ノ開基ト云 江府東叡山ノ末

寺ナリ

本堂 五間三尺ニ三間三尺 蓋葺本尊阿弥陀如

来木佛立像長ケ二尺一寸 清上人ノ作

門前ニ軒

文珠院 境内東西六間 南北六間

村内ニナリ 當山派ノ修験ナリ 明王院ノ開基ト



云七傳フシ氏年代詳却及其後元和元年三至  
于仙鏡ト云修驗再興ノ時京師ニ登リ三空院宮  
一請テ今ノ院号ヲ許サレト云觸及ハ同郡中  
田村ノ高正院ナリ以モ正徳村内ニ在リ  
院家三間三二間一尺本尊不動尊木佛立像長  
ケ一尺四寸  
深山権現社三間二間一尺  
産物十三ノ通四ノ字ナク  
松杉蕨狗脊  
免除地

幡宮 五靈社 春日社 念佛寺  
文珠院 阿弥陀堂 三个所 虚空藏堂

拍崎陣屋  
一丁四丁五丁六丁七丁八丁九丁十丁十一丁十二丁十三丁十四丁十五丁十六丁十七丁十八丁十九丁二十丁  
東ノ街科所廣田村一里西ノ街藤内藏物知所  
所平井村三里南ノ街餘村  
六丁下野鋪  
山川  
長島川  
水源  
鳥村  
山







外名アリ...

橋梁

小橋

村ヨリ西ノ方二丁許ニ又山沢ヨリ出ル所ノ  
小川ニ架ス長サ九尺幅六尺魚沼郡へ往來ノ橋  
ナリ  
宗政橋 牛ノ窪橋  
村ヨリ西ノ方一丁許ニ又小橋ニテ二丁所氏  
ノ前ノ小川ニ架ス

道祖神橋

村ヨリ南ノ方五十間許ニアリ長鳥川ニ架ス小  
橋ナリ

井堰

溜二ヶ所

字コシマノ溜ハ村ヨリ一丁許南ニアリ字トウ  
フケ溜ハ村ヨリ北ノ下許西ニアリ共ニ小サキ溜  
ナリ  
右二ヶ所溜ノ外村養水ノ小堰田所ノ江筋ニ敷  
ケ所アリ氏年々ニ田場所モカハリ仮ニ設クル所







高照推現

庫裡安置ス

神体木ノ立像長ケ一寸八分圓

形ノ厨司ニ

安置ス文應元庚申年開基宥秀一休

ノ靈像ヲ將來ニ一宇ノ精舎ヲ建立シ未代ノ衆

生ノ為ニ有縁ノ地ヲ求ム釈尊成道ニ玉ヲ時佛

陀靈驗遺法興繁ノ地ニ於テハ必ス御影ヲウツ

ニ瑞相ヲ示シ玉ヲ此地其一ニメ天下毎双ノ靈

跡ナルニ因テ一宇ノ草堂ヲ建立シ三密ノ薰修

ヲコラシ此地ノ群類ヲ誦度ス于時文應二年酉

年八月宥秀夜ニ不思議ノ靈夢ヲ蒙リ猶祈念不

怠或夜白衣ヲ着セル神童宥秀ニ告テ曰吾汝ニ

靈驗アラタナル尊像ヲ興ヘント則授ルト見テ

夢覺ム是高照推現本地多羅觀音ナリ宥秀奇異

ノ思ヒヲナシ瞻礼恭敬ニ奉ルニ感應日々ニア

ラタニシテ火災ヲ除キ或痘疹ノ患輕カラシ

ヲ祈リ或ハ婦人安産又ハ乳汁ノ出シヲ祈念

スルニ必ス其靈驗ヲ得ルト云往古北條ノ毛利

丹後守眼疾ヲ患テ物ヲ見ルトアタハス高照推

現ノ靈驗アルトヲ傳聞テ寶前ニ一七日叅籠シ

靈驗ヲ仰クカ為ニ水穀ヲ断シニ七日ニ満ル曉

光明ヲ放テ汝信心丹誠ヲ抽テ祈誓スルニ因テ



今奇特ヲ見ス一ト現ノ如クニ聞テ忽而眼明  
カナリ又頼瑠ト云一ル僧勸学睡眠ノ為ニ急ル  
トヲ歎テ断食希籠メ祈リニ其後勤学ニ睡キ  
トヲシラス或時高照権現カリニ現ハレ病眼加  
持ノ印ヲ頼瑠ニ授ケ玉フト爾来眼ヲ患フル者  
願心ヲ起シ祈誓スルニ靈驗掲焉ト云此靈佛  
天空ニテハ多羅觀音漢土ニテハ悲眼生菩薩我  
朝ニテハ高照権現ト仰キ奉リ遠クハ當來ノ佛  
果ヲ開キ近クハ現世ノ諸難ヲ拂ヒ給フ靈像也  
ト云 縁起ノ大槩ナリ

産物

ナミシ山ノ四ノカケ

松 杉 蕨 狗脊

免除地

白山社 熊野社 極樂寺

端村

久野崎

本村ヨリ西ノ方一丁許ニアリ村長ヲ東西二丁  
余南北一丁余家數二十九軒尙背ヒトシカラス



橋梁

橋一ヶ所

本村ノ西端ニあり長サ九間幅九尺長鳥川ニ架ス  
三国街道往還ノ橋ニシテ普請ハ北條村立會  
費用ハ領主ヨリ興フ

小川橋

村内ニあり長サ七尺幅六尺山沢ヨリ出ル処ノ  
流ニ架ス

久野崎橋

村ノ北端ニあり長サ七間幅一間長鳥川ニ架ス  
三国街道往還ノ橋ニシテ小鴨北條西村ニテ預リ持フ普請ハ村  
ハ領主ヨリ興フ

井堰

ナミノ池ノ四ヶ所

山沢ヨリ出ル水ヲ田所ノ内所ニテ堰上ケ其  
水ヲ耕地ニ灌クト云一尺堰ハ至テ小サク字元  
ナケレハ尺ノ記スニ煩ハシケレハ略ス

佛場

観音堂

境内  
四ヶ所

村支配

村内ニあり縁日毎月十八日  
堂 四間三丈三三間本尊木佛坐像長七寸

免除地

観音堂



國音備考

堂村四間小種三間

本村ヨリ末ノ方一丁許ニアリ村長サ東西二丁  
餘南北一丁餘戸數廿一軒向背ヒトシカラス

橋梁

橋三ヶ所

本村ト當村ノ間作場道ニ三ヶ所共ニアリイツ  
シモ長サ二間幅五尺田間ノ小川ニ架ス

神社

十二神社

社地東西七間  
南北六間

村支配

村内ニアリ祭ハ八月廿九日ナリ  
社七尺ニ六尺

佛場

地藏堂

境内東西五間  
南北三間

村支配

村内ニアリ縁日毎月廿四日ナリ  
堂九尺ニ六尺本尊石佛坐像長ケ七寸

虚空藏堂

境内東西五間  
南北六間

村支配

村内ニアリ何レノ頃ヨリ彼堂モ破壊シ佛像モ  
ナケレ氏村ノ仕來リニテ八月廿九日ヲ縁日ト



乙テ村民参詣ノ来リニ八月廿六日ヲ懸白シ  
林内免除地何シ人則日ハ以堂ニ取對シテ  
十二神社並蓮地藏堂即東ノ虚空藏堂

堂村大ノ末六ノ本ノ要ニテ新堂新刻ニテ南西ニテ

林内北ノ末六ノ本ノ要ニテ新堂新刻ニテ南西ニテ

林内北ノ末六ノ本ノ要ニテ新堂新刻ニテ南西ニテ

林内北ノ末六ノ本ノ要ニテ新堂新刻ニテ南西ニテ

林内北ノ末六ノ本ノ要ニテ新堂新刻ニテ南西ニテ

林内北ノ末六ノ本ノ要ニテ新堂新刻ニテ南西ニテ

林内北ノ末六ノ本ノ要ニテ新堂新刻ニテ南西ニテ

三曲刈羽郡鯖石庄北條郷

北條村

柏崎陣屋ヨリ辰ノ方二里三十丁ニテ村ノ大

サ金ノ凡ノ一里内外四方ニ跨テ十一ヶ村ニ分ル

テ北條ト呼家居十ヶ村一ヶ村ノ惣名ナリ町方

村ヲ以テ中央トスレハ悉ク町方村ヲ主トシテ

四方ノ道程何許リト云テ又記ス四至東ハ御料

所廣田村ノ三丁與板領武石村ノ一里推谷領小

廣田村ノ三丁西ノ安田村ノ三丁南ハ南條村ノ

四丁北ハ安藤内藏助知行所平井村ノ廿丁許リ



イウモ地場入文詳ナラス

小嶋村ハ八丁許領主ノ次子ハ山澗村ニ同シ又  
文龜年中ニ石田備中大須賀志摩ト云上加ノ字  
人長尾為景ニ仕ヘ出頭久リシカ永正六年上杉  
顯定関東ヨリ打入為景討負テ越中ノ西濱ヘ引  
除ニ時石田大須賀等送心シ為景ヲ攻メ為景遂  
ニ叶ハスニテ佐渡ニ落行其後為景方高梨播磨  
守謀テ石田備中ヲ討シト云此石田備中ニ北條  
ノ内ヲ為景ヨリ授ニ上云下北國太平記ニ見ユ  
夕リ當村ハ頸城刈羽ノ西郡ヨリ奥沼郡ニ掛リ  
三國海道ニ出ル所ノ驛場ナリ上ハ拍崎ハ二里

三十下ノ継下ハ塚野山ヘ二里十八丁ノ継場ナ  
リ此間峠ニテ嶮岨ヲ凌ク難所ナリ宿驛継互何  
レノ頃ヨリ勤來心ト云下不詳  
町方村  
東西二丁南北五丁三十間戸數九十五軒向背ヒ  
トシカラス前三云所ノ驛問屋當所ニアリ  
高札場一ヶ所官ヨリ令セラル、掟條目ヲ掲

山川  
北條川



村ノ内ヲ流ル幅九尺許リ深沢川赤尾川佐野入  
川此三川ノ次此三ツノ川合メ北條川トナル

橋梁

橋二ヶ所

村ノ内ニアリ字土會橋ト云共ニ長  
サ二間三尺幅六尺ノ板橋ナリ北條川ニ架シテ  
三國海道往還ノ橋ニテ普請ノ費用ハ領主ヨリ  
下ニ共ノ此外小サキ板橋廿五所此往來ニアリ  
共ニ普請ノ費用ハ領主ヨリ共ノ數ヶ所ノ小橋  
ニテ見ルニワツラハシケレ共ニ記サス

土橋三ヶ所

字岩清水橋ハ長サ六間幅六尺村ノ西端ニアリ  
字外城橋ハ長サ五間幅四尺村ノ内ニアリ字諏  
訪橋ハ長サ五間三尺幅四尺村ノ南端ニアリ共  
ニ北條川ニ架シテ耕地ノ往來橋ナリ  
村ノ西四下許ニアリ長サ二間幅三尺ノ板橋ナ  
リ北條川ヲ安藤内藏助知行所平井村ノ養水ニ  
引所ノ小流ニ架ス因テ村地内ニアリ平井村  
ノ預カ持處ナリ







社地東西廿間  
南北二十間

社家辛嵐甚三郎

村内ニアリ祭日九月十九日

社九尺二六尺  
社地東西廿五間  
南北二十間

熊野社  
社家辛嵐若狹

村内ニアリ祭日三月十五日

社七尺二六尺  
社地東西四間  
南北二間

諏訪社  
社家辛嵐若狹

村内ニアリ祭日七月廿七日

社小祠ナリ

佛場

十王堂  
境内東西八間  
南北六間

村支配

村内ニアリ縁日毎月十六日

堂三間ニ二間

寺院

專称寺  
境内東西二百四十間  
南北五十間

村内ニアリ時宗ニシテ北條山三空院ト云元弘

元辛未年毛利丹後守大江時元ノ開基時元十二

代ノ孫景廣萩田主馬ニ害セラレ毛利家廢絶ニ

及テ後衰微セシカ説賢ト云僧享保二酉年再興



又本山八則相列藤澤清浄光寺ナリ當山傳來ノ  
過去帖ニ毛利氏歷代ヲ載スル事左ニ記ス力如  
シ按ニ此過去帖ニアル處ヲ見レハ毛利家北條  
ノ城主タル久シ上杉家越後國ヲ  
領スルニ及テ旗下トナリタル成レ

當寺傳來過去帳

丹後守母儀ハ安藝守大膳大夫大江廣元ノ嫡  
女五條局ノ嫡子ナリ父ハ子細有テ彼局ノ所  
其名ヲ記サス  
領ヲ讓リ因幡國一ヶ所伊勢備後備前播磨陰  
山庄外ニ當國刈羽郡佐橋庄北條五ヶ村是悉  
ク局ノ御讓ナリ毛利丹後前司守元ト稱ス

元祖 大乗院殿 慈阿弥陀佛

元弘元未二月十三日

永和年中毛利宮内少輔入道沙弥道幸字

是佛坊

二代 蓮葉院殿 知阿弥陀佛

永和元五月廿日

時元ノ嫡子毛利丹後守治良左近大夫將

監ト稱ス

三代 唯心院殿 圓阿弥陀佛

應永元戌六月六日



毛利丹後守治良於伊勢御當家ノ御味方  
討死此時石田小三郎小倭紀四郎始討死

按此二於伊勢御當家ノ御味方トアリ  
一京都將軍家ト疑フカ

四代 普廣院殿 覺阿弥陀佛

應永廿五十二月十二日

丹後守長廣鑄石大門輔又平井殿ト号ス

五代 祐元院殿 朝阿弥陀佛

永享元八月廿二日

芳朔東公

六代 称奥院殿 重阿弥陀佛

文明十一年四月十四日

治部少輔廣榮称奥庵ト号ス

七代 廣称院殿 其阿弥陀佛

丹後守重廣

淨泉院殿 覺阿弥陀佛

文明十一年四月七日

丹後守廣榮

按二六代称奥院文明十一年四月十四日  
日治部少輔廣榮トアリ八代淨泉院文  
明十一年四月七日丹後守廣榮トアリ





八代目ノ六代目ヨリ死ノ早キ丁僅ニ  
七日最モ六代稱與院ト云ハ長壽十  
リシモ知ス然レ氏六代共ニ廣榮  
トアリ譬ヘ稱與院世ヲ辞シ夕リ氏祖  
父存命ノ内ニ孫ノ淨泉院祖父ノ名ヲ  
稱スレシキ後代ノ内名ノ同レキモ  
ノ其類少ナカラスサレハ稱與院入道  
ニテ後孫ノ丹後守ニ名ヲ讓リシニヤ  
疑ハ又按ニ七代廣稱院九代隨信院共  
ニ死ノ年月ヲ記サス又過去帖ノ前卷  
ニ刈羽郡佐橋庄上ヲレハコノ過去帖  
ニ三島郡ヲ割テ刈羽郡ヲ置シ後ニ好  
祿事ノ僧ノ寺ノ為ニ書置シ物歟疑ハシ

九代 隨信院 同上

十代 前安藝守輔廣  
最勝院殿 臨阿弥陀佛

十代 大永四年十月十四日  
丹後守廣春

十代 東光院殿 但阿弥陀佛  
永正十年十二月十一日

十代 丹後守弥五郎高廣  
文因院 僧阿弥陀佛

十代 天正十七年二月二日



大江景廣萩田主馬ニ討ル

按ニ萩田ニ討シテハ丹後守長國ト云  
安藝守カ子ナリ安藝守カ死ノ年月此  
過去帖ニシテ十代最勝院丹後守廣春カ  
死セシハ大永四年十レハ九代ノ主守  
藝守カ死ハ大永ノ前後遠カレトシサ  
シハ十代十一代ト二代隔テ夕レハ萩  
田ニ討シシ景廣ハ安藝守カ為ニハ曾  
孫ナリシカレハ北越ノ事昏レ諸書ト  
ハ相違セリナレハ丹後守廣春十一代丹後  
トアレハ十代丹後守廣春十一代丹後  
寺高廣モ一度ヒ安藝守夕リシニハ又  
萩田ニ討シシ長國ノ景廣ト云シトモ  
北越ノ丁昏夕ルモノニ見正ス又萩田

主馬ニ討ルトアレシ氏萩田カ長國ヲ討  
レ時ハ其宗共衛ト云シナレハ前ニモ  
記セシ如ク此過去帖ハ後人ノ作ナレ  
丁疑フヘカラヌ萩田共宗共衛ハ後ニ  
主馬ト云テ越前家ニ奉仕ス

客殿 東西九間三尺南北八間三尺蓋菅本尊阿

弥陀如來木佛産像長ケ二尺五寸裡ニ自費大師

ノ作トアリ

庫裡 東西十一間南北四間三尺蓋菅

十二権現堂 東西二間南北一間三尺當山ノ鎮

守ナリ



古碑 一基元祖毛利丹後守時元ノ墓碑ナリ

門前 百姓家二軒外ニ穢多家六軒アリ

本覺寺 境内東西北西十二丁間

村内ニアリ法華宗ナリ真如山園貞院ト云天文

元年伊豆國王澤村妙法華寺ノ僧日出當国弘通

ノ節毛利氏ノ臣廣川一樂ト云者日出ニ皈依シ

我領セル所ノ地ヲ以テ寺地トシ一字ヲ開基ス

則豆列妙法華寺ノ末山ナリ

客殿 九間三尺ニ五間三尺蓋葺本尊宝塔并釋

迦多宝如来木佛座像長ケ一尺七寸四菩薩共ニ

木佛立像長ケ一尺七寸文殊普賢菩薩木佛坐像

長ケ一尺不動愛深明王木佛坐像長ケ七寸四天

王共ニ木佛立像長ケ一尺七寸三十番神共ニ木

ノ坐像長ケ五寸鬼子母神木ノ立像長ケ七寸十

羅刹女木ノ立像長ケ五寸日蓮木佛坐像長八寸

庫裡 五間三尺ニ四間蓋葺

稻荷社 石ノ小祠ナリ當山鎮護ノ神ナリ

七面大明神 石ニ神号ヲ彫付タリ

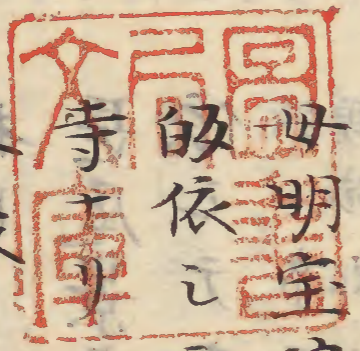
西方寺 境内東西北西廿四間

村内ニアリ浄土真宗ナリ山ヲ金躰山ト云開基



明祐ト云僧天文十九年信濃國井上下云所  
寺ヲ建立シテ金剛山西方寺ト云ヒシカ  
慶長年間寺ヲ當所ニ移ス何ノ工ト云  
下詳ナラス東  
本願寺ノ末寺ナリ  
客殿 拾間二十一間蓋蓋日本尊阿弥陀  
如来木  
併立像長二尺一寸  
庫裡 六間二十三間蓋蓋  
塔頭  
法雲寺  
愍念寺

西雲寺 境内東西廿間  
南北三十五間  
村内ニアリ浄土宗ナリ明寶山念佛院ト云開基  
ハ當所ノ古城王毛利丹後守八代ノ孫廣榮ノ伯  
母明宇院長祿元年ノ建立ナリ甫貞ト云フ僧ニ  
依リテ住職タラシム本寺ハ同郡拍崎ノ浄土



客殿 東西七間三尺南北六間三尺蓋蓋日本尊阿  
弥陀如来木佛立像長ケ二尺三寸養澄ノ作ト云  
服士觀音勢至共ニ木佛立像長ケ一尺五寸開基  
明室院ノ位牌ヲ安置ス



庫裡東西九間南北四間蓋昔

門前百姓家一軒

寺在境内東西二丁

按ニ林泉寺ハ文明年間ニ尾信濃守能景ノ建立ナリ既ニ天文

十一年三月十三日為景ノ出ル人照田常陸介カ子黒田和泉守金津伊豆守

逆心ノ時景虎ノ危キヲ助ケテ林泉寺ノ天室和尚ト椽尾ノ淨安寺ノ

僧門察ト心ヲ合セ景虎ヲ椽尾ヘ送シ門察本庄美作守慶秀ニ

告テ景虎本意ヲ達セシ事アリサレハ事記ニ享徳二年尾景虎

曇英ニ依依シテ林泉寺ヲ建立セシ砌リ村山安藝守當寺ヲ草創シテ

曇英ヲ開山トセシヲ傳記ノ誤ナル事明ケシ

シ然ルニ領主村山安藝守トアリモハハ不審ナ

リ北条ハ十二ヶ所ニ分リタル村ナレハ北条ノ

内北西方ヲ村山氏領セシニヤ不知モコノハ村

山安藝守ハ毛利丹後守當寺ヲ建立シ曇英ヲ請

カ祓官タリシニヤ不詳今

シテ開山トス後衰微シタリシヲ毛利丹列十二

代ノ孫景廣再興ス因テ景廣ヲ中興ノ開基トス

本山ハ上野国群馬郡白井邸雙林寺ナリ當山四

代文経ト云僧天文十七年常會ノ勅許ヲ蒙ル今

ニ勅許状ヲ傳來シテ當寺第一ノ什宝トス則左

勅

神興山高

攀越列之勝景

留曹洞之宗門

普廣寺古

△北條丹

後守

長尾

安藝

守カ子

ト北條

太平記

見ハシ

此村山カ

子ニテ毛利

上代高廣

養子ナリ

夜過

田三討

シ景廣

下ニ格

ニト層

ル処

ト照

合テ考

ハシ北條

太平記

長尾

家筋ノ者ノ子ナルハシサレハ村山安藝守ハ毛利氏ノ祓官ニテ西方ヲ領セシ



庫裡東西九間南北四間蓋葺

門前百姓家一軒

普廣寺

境内東西二十間

村内ニアリ禪宗ナリ山ヲ神興山ト云亨徳二年

長尾景虎上列白井雙林寺ノ三代ノ僧曇英ニ皈

依シテ春日山ニ一字ヲ建立シ林泉寺此林泉寺

越ノ事郡ノ事ナリ諸書ニ見ユタシ氏ト號ス其砌當

所ノ領主村山安藝守北条ノ古城主ハ毛利氏

リ北条ハ十二ヶ所ニ方リタル村ナリハ北条ノ

内北西方ヲ村山氏領セシニヤ不知モコクハ村

山安藝守ハ毛利丹後守當寺ヲ建立シ曇英ヲ請

カ祓官タリシニヤ不詳今當寺ヲ建立シ曇英ヲ請

シテ開山トス後衰微シタリシヲ毛利丹列十二

代ノ孫景廣再興ス因テ景廣ヲ中興ノ開基トス

本山ハ上野国群馬郡白井邨雙林寺ナリ當山四

代文経ト云僧天文十七年常會ノ勅許ヲ蒙ル今

ニ勅許状ヲ傳來シテ當寺第一ノ什宝トス則左

勅

神興山高僧擊越列之勝景

普廣寺古留曹洞之宗門

△北條丹後守  
長尾子ナリシ後過五帖ニ存田ニ討シシ景廣ノ下ニ格ニト居ル処ト照シ合テ考ヘシ北條文平記ニ長尾ノ守カ子ト北條太平記ニ見ユタシハ此村山子ニテ毛利士代高廣ノ差長子ナリシ

家筋ノ者ノ子ナルシサハ村山安藝守ハ毛利氏ノ祓官ニテ西方ヲ領セシナルシ

武英二集  
月三十一  
北條  
長尾  
山安藝  
守カ子  
太平記  
見ユタシ  
此村山  
子ニテ毛  
士代高廣  
差長子ナ  
リシ



庫裡 丈經和尚

汲道元天の流 嗣不庵之派脉

工夫度日 复安居冬安居焉 法兄

歷年 朝一人 暮一人 矣 雖置躬

於邊地 得攀名於禁庭 特賜月

照德光禪師

天久十七年六月十六日

客殿 拾三間 = 九間本尊釋迦如來木佛坐像長

ケ二尺二寸 服士文珠普賢共二木佛坐像長ケ一

尺

庫裡 十三間 = 六間三尺 蓋普

衆寮 十間 = 五間 板普

經藏 三間三尺 = 三間 板普

境内山林ノ内 = 西國三十三所 觀音堂アリ今

大破 = 因テ 經藏 = 觀音ノ像ヲ安置ス

什物 上杉景勝之書簡アリ 左 = 記ス

為法音院之物一  
并一存之修之

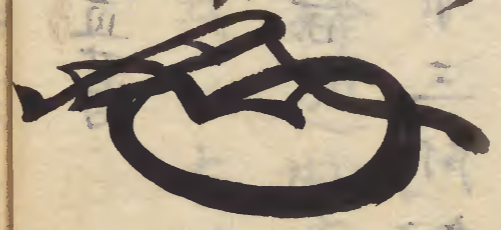


法林形之由委母  
專抄通下申之條  
之能之云之條

也寺以成

心首之云之條

板丹中京橋



華廣寺

法津

八幡宮 社九尺三六尺

雷休推現 社九尺二六尺 往昔鑄石殿ノ靈トテ

八石山ノ頂ヨリ夜ノ光物出ル因テ鑄石殿ヲ雷

休推現ト崇ヒヨリ光リ物ノ坂止シ下云此鑄石

殿ト云フ八毛利大萬助トテ剛勇ノ人因リ云

毛利丹後守 吾手ニ屬ヒ事ヲ計ヒ氏隨テ

詮方ナク丹後守我々大萬助ニ嫁ヒ或才誘ヒ



ヨビテ颯良シ風呂ニ入焚殺シケルト云其靈雷

電トナリ崇リヲナシ北條ノ城中穩ナラズ時ニ

當寺四代文経ト云僧ノ加持ノ切徳ニ因テ惡靈

鎮リケレハ則當山鎮護ノ神トナセリ

梅ニ當村專称寺ノ過去帖ニ毛利氏ノ四代普

廣院丹後守長廣ヲ籍石大門輔ト号シ又平井

殿ト号セシトアリ雷休権現ノ靈ハ毛利大萬

助トアレハ同人ニテ五音通スレハ門ト萬ト

後人誤リ傳ヘシナル其証ハ大萬助モ則籍石

殿ト云シナリ然レハ毛利氏ノ歴代ナリナシ

ハ本文ニ丹後守誘シヨセテ殺セシト云ト疑

ハニ寺記ニ傳ル所可疑ノ甚シキナリ又長廣ノ

法号ヲ普廣院ト云ハモシクハ此寺ハ長廣ノ

菩提寺ニ建立シテ普廣寺ト号スルニヤ此説ノ如クハ

北越太平記ニ文明年間ニ曇英ノ林泉寺ヲ開基セシト云モ又疑ハ

右ニ社ヲ以テ當寺ノ鎮守トス長廣ハ應永廿五年ニ死セシト

門前 百姓家二軒

古蹟

村西ノ方ハ下詩山ニアリ上杉憲榮ノ旗下毛利

丹後守ノ城跡ナリ此古城主毛利氏ハ数代此所

ニ住テ上杉憲榮越後国ヲ領スルニ及テ旗下ト

ナリシ下リ先祖ハ毛利大膳大夫大江廣之外殿

ノ孫ナリ事ハ專称寺ノ過去帖ニ見ルニ當所ニ

前番ニ見ヘタリ

今定ノ村

公羽ノ碑

大萬助ナリ

サレハ專称寺

ノ過去帖ニ

ル大門輔ノ

方誤リ成

キ候

又長廣村ノ周廣院ハ開基モ利大萬助周廣トアリテ北条ノ城主ナリシト云則大万助ノ法名ヲ周廣

院ト云位牌アリ專称寺ノ過去帖ニ周廣院ト云法号ヲ毛利三代ノ内ニナシ大門輔ト云ハ普廣院ノ

事ナリ也ハ

別人ニヤ傳ル

処區ニテ

詳ナラス



住ニケレハ本氏ヲ言ハスレテ北條ヲ以テ蓋シト  
ス北越ノ事昏夕ル軍談等ニ北條丹後守上ノ  
モノ此毛利氏ノ事ナリ今風土記ニ多ク毛利丹  
後守ト昏ルモノハ其村ニヨリ言出夕ク此以テ  
本氏ヲ多ク書シナリ此城主十二代ノ孫北條丹  
後守是國ハ安藝守ト申者ノ子ニテ此安藝守ノ  
事普廣寺ノ  
同基村山安藝守ノ下ニ  
接ルニ十昏夕ルニ外ト可見合武勇勝シテ武邊ノ  
塲敷甚多シ謙信ノ先手ニ有テ度々ノ切ヲ顯ハ  
シ謙信ヲモ下キニ程ノ者ナリシ指物白練一幅  
ノ小四半ニ黒キ六寸ノ篋蟻ヲ紋ニ付サシ夕リ

ニテ餘リ小サシトテ謙信見テ勿シ寸是國申ケ  
ルハ三幅掛四幅掛ニ大紋ヲ画キ夕ル指物ハ敵  
陣ハ能見セン為ナリ然レハ我亦指物ハ餘ノ大  
ナル指物ヨリハ能ク見エ可申子細ハ何時モ敵  
前近ク乗候程ニト申シケレハ謙信梳髻ヨカリ  
ニトナリ景勝三郎景虎ト跡目論ノ時景虎ニ一  
味ニテ萩田共宗共衛ト云後萩田主馬ト云テ或  
後家ニ奉仕セシト云  
者ニ鎗ツケテレ乗ヌケテ城ハ飯リシカ氏終ニ  
此手疵ニテ果シトナリ此時北條ノ家断絶セシ  
カハ遂ニ城モ廢セシ見エ夕リ



舊家

弥八郎

弥八郎ハ當取ノ問屋ナリ元來上杉家ノ臣ナリ  
 山カ何シノ頃ヨリ秋零落シテ農夫トナリ久シ  
 少當村ニ住メリト云梅ニ普光寺ノ開基セシ村  
 高<sup>法祖</sup>ル<sup>ル</sup>一<sup>ニ</sup>無<sup>シ</sup>氏<sup>氏</sup>弥<sup>八</sup>郎<sup>古</sup>ク<sup>ク</sup>當<sup>村</sup>ニ<sup>住</sup>メ<sup>テ</sup>來<sup>ル</sup>  
 上杉家ノ臣ト云<sup>リ</sup>タ<sup>リ</sup>シ<sup>ト</sup>弥<sup>八</sup>郎<sup>古</sup>ク<sup>ク</sup>當<sup>村</sup>ニ<sup>住</sup>メ<sup>テ</sup>來<sup>ル</sup>  
 商ナリト云<sup>リ</sup>タ<sup>リ</sup>シ<sup>ト</sup>弥<sup>八</sup>郎<sup>古</sup>ク<sup>ク</sup>當<sup>村</sup>ニ<sup>住</sup>メ<sup>テ</sup>來<sup>ル</sup>  
 不知ト云<sup>リ</sup>タ<sup>リ</sup>シ<sup>ト</sup>弥<sup>八</sup>郎<sup>古</sup>ク<sup>ク</sup>當<sup>村</sup>ニ<sup>住</sup>メ<sup>テ</sup>來<sup>ル</sup>  
 傳ヘテ左ニ記ス此感狀ハ景虎ノ感狀持  
 國荻田カ為ニ討シテ家絶シ時安藝守ハ長國カ  
 父ノ家ナシハ共ニ  
 家断絶セシト見エ  
 然レ氏景虎ハ父亀ヨリ遠カニ後ノ人幸元龜天正ノ頃全盛ナリシ人ナリハ  
 文龜ト有<sup>リ</sup>疑ハシ書ノ付裁ニ依<sup>テ</sup>考<sup>ル</sup>正シク景虎ノ自狀ナリシ終ハ  
 元ノ字ノ轉訛セシニア

と庄不倍州に走り

原藏馬廻 有来 記

此類は向後七二返り書

老々あめ

天鑑



八月廿五日  
御  
御

村  
五  
の

軒  
土  
白  
山  
社  
地  
東  
西  
五  
十  
間  
農  
夫

半  
兵  
衛

農夫半兵衛小當村ノ組頭ナリ此ガ貧民ヲ実意  
ニアツカヒ農具ヲアタヘ種類ノ足サルヲ補ヒ  
離散セサルヤウニ教示ヲ尽シケルユヘ庄屋ニ  
ナシ其上相應ノ虞義ヲ與フコトニ因テ猶サ  
農事ヲ励マセ山川ノ為ニ欠タル地ヲモ領主  
ノ費ニナラサルヤウニ計リケレバ自然ト村カ  
ラモナホリ農事ヲモ怠リナク励ミケルユヘ天  
明六午年再ヒ虞義ヲ與フモカトナシ  
免  
除  
地  
免  
除  
地  
免  
除  
地



熊野社 諏訪社

専称寺

本覺寺

西方寺 西雲寺

普廣寺

十王堂

産物

蕨 狗脊

薯蕷

松

杉

此産物

西方村人

之ニ限ラス北條一村ノ産物ナリ

家別村

町方村ヨリ辰ノ灰廿四丁ニアリ東西壹丁南北

四十間戸数廿軒向背ヒトシカラズ

神社

白山社

社地東西五十間南北六十間

村支配

村ノ内ニアリ祭日ハ九月九日ナリ社ハ當時麩

セリ

免除地

白山社

笹川村

町方村ヨリ辰ノ方廿丁ニアリ東西五十五間南

北四十間戸数十三軒向背ヒトシカラズ



上光安村

町方村ヨリ辰方廿一丁ニアリ東西三十間南北  
一丁戸数十八軒向背ヒトシカテ又五十五間南

山川

佐野入川

村ノ内ヲ流ル水源ハ村地内ノ山谷ヨリ出甚ノ  
小流ナリ町方村東端ニテ北条川ニ落ル佐野入  
ト云ハ耕地ノ字ナルカ其所ヲ流ルレハ川ノ名  
トス

下光安村

町方村ヨリ辰ノ方廿一丁ニアリ東西四十七間  
南北一丁戸数十九軒向背ヒトシカテ又五十五間

兼則村

町方村ヨリ辰ノ方廿五丁ニアリ東西四十間  
南北五十五間戸数十二軒向背ヒトシカテ又

伊持村ヨリ辰ノ方廿五丁ニアリ東西四十間  
南北五十五間戸数十二軒向背ヒトシカテ又



深澤村

町方村ヨリ辰ノ方壹丁ニアリ東西一丁三十間  
南北一丁戸数四十軒向背トシカラス  
深澤川

深沢川

村ノ内ヲ流ル水源一村ヨリ未申ノ方ノ山ヨリ  
出ル川幅廣狭トシカラス町方村ノ南端ヲ流  
ルテ北条川ニ合ス  
才上十セ川

深沢川ノ分流ニテ養良水ニ用ル所ノ小川ナリ

赤尾村  
町方村ヨリ午ノ方八丁ニ在リ東西一丁南北二  
丁三指間戸数四十間向背トシカラス

八石山  
村ノ東ニ在リヨホトノ高キ山ニテ他領入交十

リ柏崎付ノ地ハ西北へ向ヒシ山ノ一尾ノニ十  
リ土人ノ口碑ニ此山膏肥ナル地ナレハ古へ菽



ヲ植タリシニ繁茂シテ大樹ノ如クナリシヲ專  
稱寺ノ梁ニセシト云又實ノ多ク結セタリシニ  
或時大風枝ヲ吹折ハルカニ飛ニ落タル所ノ  
豆ハ石アリシニ五ニ山ノ名トセシト云氏是ハ  
俗説ニテ此山ノ數峯相連リタル中ニ谷ノ數ハ  
ワタル五ニ谷ト唱ヒシヲ八石ノ文字ト昏  
誤リシト云頂ニ城蹟アリ毛利大萬助ト云シ人  
ノ住セシ城跡ト云フ其邊ハ他領タレハ由緒ヲ  
採録セス此山ノ麓ニ七ヶ村アリ是ヲ善根七村  
ト云悉ク御料所ナリ

赤尾川

村ノ内ヲ流ル水源ハ村ヨリ南ノ方ノ山ヨリ出  
ル川幅廣狭ヒトシカラヌ所方村ノ中ニテ北条  
川ニ合ス

神社

愛宕社

社地東西二丁三間  
南北四十間

社家

幸嵐甚三郎

村ノ内ニアリ天文十二年毛利弥五郎高廣ノ  
勸請ナリ前々ハ祭六月十八日ヨリ廿六日迄ニ  
テ其間ニ七日ノ市立テ近郷ノ人集リシカ今中  
絶ニテ市モナク祭モ六月廿四日ニ執行スルノ



二十リ故ニ今ニ社地ノ中ニ市場ト云傳フル所

社二間ニ九尺社地二村支配

白山社社地二村支配

村ノ内ニアリ祭ハ三月廿二日社今廢セリ

熊野社社地東西南北三間村支配

村ノ内ニアリ祭ハ三月十六日社今廢セリ

佛場觀音堂村支配

觀音堂境内東西南北十一間村支配

村ノ内ニアリ縁日毎月十八日

堂四間ニ二間三尺

免除地

愛宕社 白山社 熊野社 觀音堂

鹿嶋村

町方村ヨリ末ノ方二丁ニアリ東西壹丁南北五  
十間戸數十四軒向背ヒトシカラス

神社

御鳴石部神社社地東西九間社家廿十嵐若狹

村ノ内ニアリ式内三嶋郡七社ノ其一也川羽郡



郡ヲ裂リテ神体ハ武甕槌命ニメ則鹿島大明神ナ  
置所ナリハ土人御嶋石部神社鹿島大明神ト云當  
社ニ傳ル処ノ縁起其文拙ケレ氏年代ノ古キニ  
依テ今其儘左ニ記ス  
抑當社大明神此地ニ鎮坐シ玉フ丁昔神代ノ時  
皇年ヲ背ク惡鬼神天ノ下ニハビコリ有ヲ悉ク  
卒ケ當所ニ來リ昶世ト云人ニ宣ハク是ヨリ東  
北ノ奥ニ王法ヲ妨ケ天下國家ヲ乱シ万民ヲ苦  
シムル魔賊アリ猶此末時代ニ起ルハシ吾ハ  
神皇ノ詔ヲウケ奉ルナリ爰ハコレ山里ニスク

シ四方低シテ穢水ヲ不受ノ地ナリ此東ニ當テ  
一ノ大石現ス大魔押留ノ石神力ノナス處ナリ  
此石ノ辺ニ令造陳社ヲ尤丑寅ヲ後トシ未申ヲ  
表門トシ王城ヲ守護シ衆生ヲ惠ムハシ吾ハ是  
武甕槌ノ神ナリト告給ハハ老翁驚キ敢ニ任セ  
先後ニ木ヲタハメ草木ヲノセ而風ヲ除石ヲ敷  
テ神慮ノ御坐ト定メタリト云シバク過テ漸  
宮柱ヲホリ立蒙フキニシ葭ヲ垣トシ又敷度造  
リカ玉タルトアリ其後白雉年中三輪ノヨリ明  
石云人甚志厚クシテ何卒御神体ト申ヲ一度拜



シ度ト常ニ希シニ天智二年ノ秋九月十三日社  
参シ平生心ニ絶サル丁ナシハカホト心ヲ尽シ  
ケル氏更ニシルシナキ丁ハト熟ニト観念ニテ  
有ケルニイツ睡シトナク夢幻ノ如ク白雲中  
ニ入タル心地ニメ有ケルニ辰巳ノ方ヨリ風戟  
吹来ルト思ヘハ雲霧晴シハ社中ナリ宮殿  
ノ奥ニイツクシク壯ナル御姿ニシテ烏帽子直  
垂ヲ召シ笏ヲモ夕セ金色ニ耀キケタカキ御聲  
高ラカニ汝常ニ心ヲカクル所ノ神ナリ万年此  
鳴森ニ住テ悉ク諸魔ヲ追ハツス今ハ人倫ニ添

テ神カラ加フ吾名ノアラン限リハ天下國土ヲ  
惠ニ郷内安穩ニ守リ汝吾ヲ拜サニ丁ヲ多年思  
フニ因テ今告知シムルナリ弥信心堅固ニセハ  
汝名モ末世ニ残り永ク子孫榮久ナリ萬歳ニハ  
ト有ト思ヘハ夢サメタル心地ハ神前ナリ示現  
深ク身ニシシワタリ弥斤時モ急ル丁ナク信心  
セシトナリ  
又古傳ニ云何ヲ郷内ニ騷動起ルナキニハ此  
鹿嶋社鳴ワタリ拍太飛廻リ民ニ見ユル丁度  
ニナリ又或時ハ當社内ヨリ光リナク見ユ



タルトアリ是皆衆民ヲ憐ニ給フ故云ヤ遠近  
ノ人甚夕ツトニ御嶋ト云  
又御石部神氏宗メ御鹿嶋氏云石ヲ夕ツト  
テ御要石ト云如此万民ヲ守リ給フ御神故ニ  
當郡初現ノ神社ト則延喜式内ニ御嶋石部神  
社ト載リ給フト申ス又御神体ハ申ニ及ハス  
當社ニ數多佛神ノ籠ラセ給フ所ナレハ尤大  
切ニ未ニ至ルマテ心ヲツケヘシ不淨ニメ  
不可泰ナリ  
又吐レ傳ニ昔北東ノ間慶賊起リシトアリ高

見山ト云山へ當社大明神上リ給ヒ諸神違ラ  
集メ神勢ヲ揃給フ時此山ヲハセキ山ト名付  
神ホコヲ立給フ所ニホコツル子ト今申ナリ  
鳥帽子ヲシカトカフリ給フ所ヲ今エボシツ  
替ル子ト云陳鎌ヲキ給フ場所ヲカマハゲト云  
今ニ鎌ノ形ニ草木生出ズ又峯ギハニマハリ  
至イサク深サナンセントナキ池アリ御神キ  
ヲ大ノ池ニ申ス又スワキノ池氏云乃此山ノ  
麓ハ神ノ倉ト云峯ツハキハ石平子ト平大平  
宮平神籠リ何レモ悉クイハレアリ記スモ筆



ニ及ハスコレヲ略ス山名ヲ云違ヒハ石山ト  
衆民申ナリ往古神ニノ神取信ヲ所故ニイテ  
夕草木ノ生景色常ノ山トハ違ヒ未世ニテモ  
其ニルシ有ルト神變ナリ

貞治元年春二月日

五位神主三輪吉守

當家社職ノ莫北條ト申ス村名モナキ頃ヨリ當  
社ヲ守奉リ地頭職ニ兼被是五石三石ツ、集  
メ僅カ三百余石アリ其後段ニ乱世ニナリ武名  
ニ掠ラレ今ハ輕キ社職トナリ然氏下社人数多  
アリ牛玉等ヲ賦リ居ケレ氏過キカ子蒲原邊へ

行シモアリ佐渡國へ行モノモアリ免角上下靜  
カナラナル故ナリ今ハ定リタル下社人モナク  
性正負ノ社ト申テモ今ハサビタル莫ナリ併イ  
コ夕神子等モ數多アリ鯖石ノ注連ト申スヲ所  
持致シ注連頭ト申ス神子ナトコシラヘシハ當  
社ニ限タル事ナリ

享祿元戊子年

十一月吉辰

神主

五十嵐戸内太夫

正善

當家社職ノ莫北條ト申ス



當社棟札之寫

崇寧世東南瞻浮列大日本國依 王妻乃禪道流越後國于米室村郡佐橋庄

北條御則鹿島村

番匠九崎住人

孔 飛

奉御嶋石部神社鹿島大明神宮造替畢天中天下太平國安靜聖感專後佳善處

神主惣護大夫敬白

以郡村助力之造之成就畢佐橋庄惣氏人息災安穩自家七難即滅七福即生

于時天正十三年乙酉閏八月七日

二世系地成就

竪二尺壹寸六分 横四寸七分

當社ニ納ル所ノ神佛ノ像并社藏ノ宝物左ニ記ス

佛像一面全圖 左ニ記但シ銅ノ薄板ヲテ

槽ノ板ヲ包テアリ大ナ徑リ七寸五分







此裡ニ康平六年源義家歸陣ト文字ウスク見  
 工此外数字アレ氏年代古ク不詳

佛像一面全圖ニ同シモノナリ裡ニ千眼觀音  
 菩薩應永十六己丑六月日ト文字ウスク見工

此外数字アレ氏不詳是ハ北條ノ毛利家ヨリ  
 寄附セシ物ト云傳フ

佛像一面全圖前ニ同シ裡ニ文字アレ氏甚古  
 クシテ見ワケカタシ

佛像一面全圖是モ亦前ニ同シ只異ナル所ハ  
 滅金ナリ裡ニ是ハ文字アリシ物トハ見エス

道祖神ヲ男神是ハ甚ノ古物ニテ朽損シ神体モ  
 見分カタシ

道祖神同ニ神是ハ三百年餘ノ物ト云傳シ氏  
 其故不詳



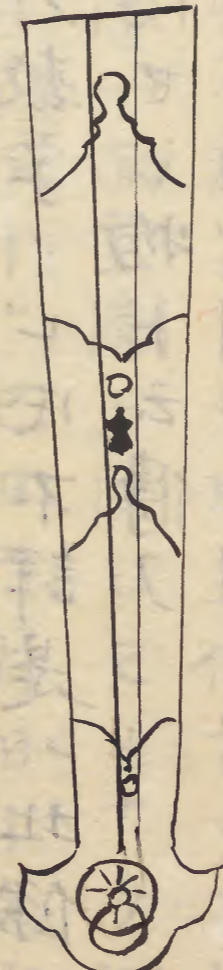
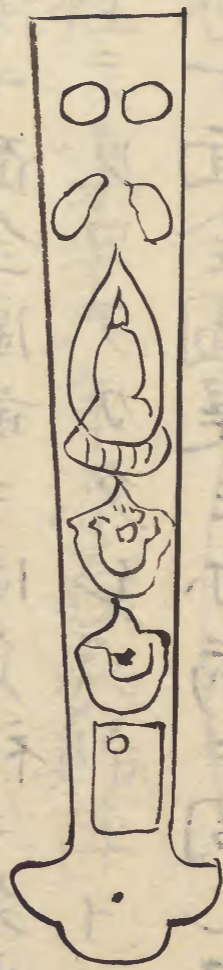
神像二体甚古物ニメ何神ノ像ト云フ詳二分

リカタシ

不動尊作佛ト云傳シ氏作者不詳

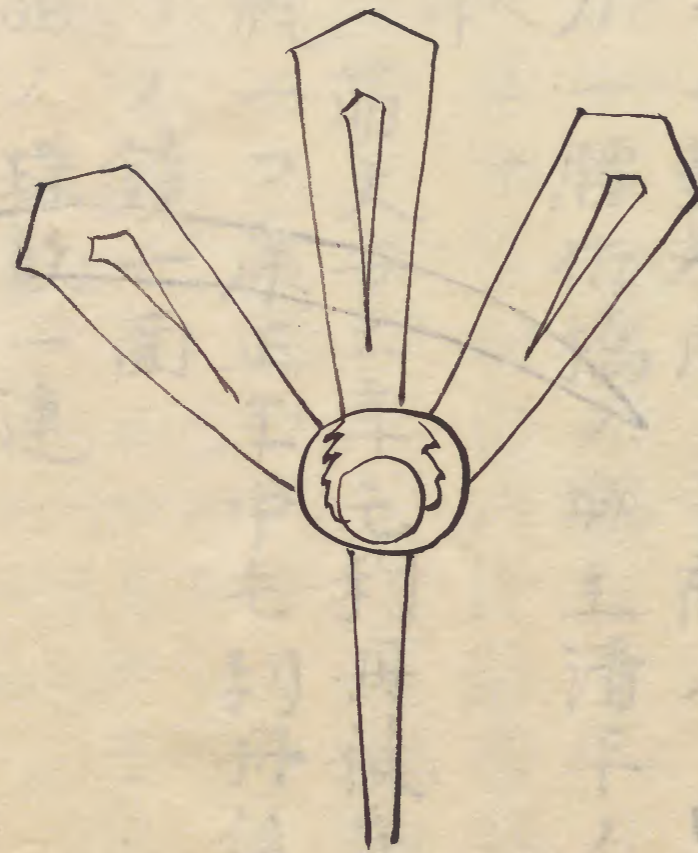
夫立形子扇ノ如シ表ノ方上ニ日月花瓶佛像

獅子頭ニツ其下ニ墨入アリ左ニ圖ヲ記ス



蓋ナリ

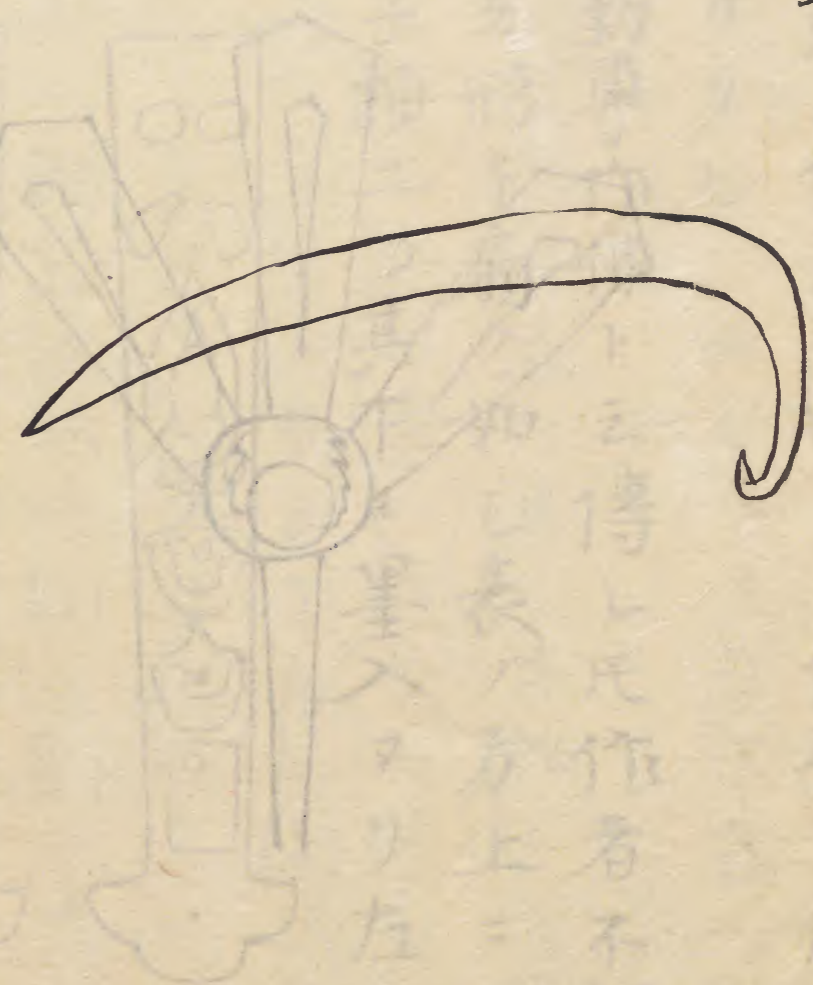
神矛





鐘

此二品ハ往古ヨリ傳來ノ神宝ナリ  
佛像一体上杉輝虎ノ安置セシト云 何佛ト云



事ツマヒウカラス

瓶子一對輝虎ノ奇附

太刀一腰佐橋ノ城主清平ノ奇附  
此清平ト云  
人何シノ頃

不詳

箭二筋文安二年毛利丹後守栄廣ノ奇附

花瓶一ツ康正年中毛利丹後守重廣ノ奇附

白之ノ鏡一面

水晶ノ珠数一連

扇一本此三品ハ天文年間高野寶龜院雜雄ノ

奇附ナリ



長柄ノ銚子二往古ヨリノ神宝ト云傳フ

鳥居 高サ一間四尺幅一間三尺

稻荷社 未社ナリ

諏訪社 社地東西五十間南北五十間 社家 丑風采女

村ノ内ニアリ祭七月廿七日

社 三間二三間三尺蓋菅棟札アリ左ニ記ス

奉造營諏訪大明神宝殿

夫當社神者砂粍鎮護之靈神日域擁護冥道也先

祖大江朝臣廣元建立之社テ永和年中毛利宮内

少輔敬神守祖再三修造畢然右時既及大破我今

其畱裔ニテ加裡茲因抽丹情仰宜慮謹奉造營者

也

天文十九年庚戌六月五日

北條土代孫葉毛利丹後守高廣判

造營奉行 赤川新五郎利親

大工棟梁 松原右平次勝平

佛場

十五堂 境内東西六間南北四間 村支配

村ノ内ニアリ縁日毎月十六日

堂 今廢セリ



免除地

御嶋石部神社

諏訪社

十五堂

十日市村

所方村ヨリ西ノ方二丁ニアリ東西南北

壹丁戸数十七軒向背ヒトシカラス

神社

八幡宮

社地東北九間

社家

丑風甚三郎

村ノ西端ニアリ祭日八月十五日當社永承元

丙戌年乞利丹後守負廣安藝國ヨリ當國ニ移ル

其時ノ勸請ト云本社ヨリ西戌ノ方社地ノ内ニ

清水ノ涌出ル処則當社ノ御手洗ニテ此清水ア

ル故ニ石井八幡宮ト云往古ハ八月六日ヨリ十

五日ニテ神祭執行其間土民ノ為ニ市ヲ立因テ

村ノ名ヲモ十日市ト云又此市ヲ放生會市ト云

タル由土人ノ云傳ル處ナリ乞利家北条落城ノ

後衰微シテ終ニ此市モ絶タリト云又社頭ニ警

固場ト云字アリ是ハ市ノ節領主ヨリ警固ヲ置

之所ト云



社四間三尺二四間南向菅菅

正八幡宮

社地東西十二間南北十間

社家尾岡山城

村ノ内ニアリ祭日八月十五日

社二間三尺二二間棟札アリ左ニ記ス如シ

夫當社正八幡宮神靈者先祖大江朝臣廣元公

辱建立室殿安置神靈其後永和中毛利宮

内少輔沙弥道幸敬神守祖再修造畢然有時而

既及大破廣元公以降屈指考之三百有年也予

亦其苗裔而不可不加修理因茲抽丹精仰冥慮

謹奉造營者也

北條土代孫葉毛利弥五郎大江高廣判

天文十九季龍集庚戌八月五日

造營奉行武藤源右衛門尉

大工三郎共衛

旗一流天文三年奉納人物ト云氏何人ノ納之物

ト云丁分明ナリ

辨財天社 未社ナリ

免除地

正八幡宮



社 今熊村

町方村ヨリ西ノ方拾五丁ニアリ東西五十間南  
北壹丁戸敷廿四軒向背ヒトシカラス

寺院

金剛院

村ノ内ニアリ元來農夫ヨリシカ室永年中ニ山

伏トナリ同郡釵村ノ修験大正院ニ隨身シ教學

ト改則大正院ヲ袈裟頭トシ同郡中田村高正院

ヲ觸頭トス當山派ノ修験ナリ

本尊不動尊木佛立像長一尺六寸

佛地

藥師堂

境内東西四間南北三間

村支配

村ノ内ニアリ縁日毎月八日

堂今廢シテ仮ニ草堂ヲ設ケテ佛躰ヲ安置ス

免除地

藥師堂

石上村ノ下地ニ修村ニ立丁地境ノ下ノ地ニ  
分明アリテ詳ニ立丁地境ノ下ノ地ニ  
古上村ノ下地ニ修村ニ立丁地境ノ下ノ地ニ  
石上村ノ下地ニ修村ニ立丁地境ノ下ノ地ニ



川羽郡 石庄北條郷  
 南條村 南條新田  
 拍崎陣屋ヨリ申辰ノ方二里十八丁ニアリ東ニ  
 山ヲ受ケ西ハ鱈石川ノ流アル村ナリ村長サ東ニ  
 西四丁南北十四丁戸數百二十二軒四至ハ東ハ  
 横澤村ハ一里許西ハ加納村ハ三丁南ハ御料善  
 根村ハ三丁北ハ北條村ハ五丁地境イツレモ不  
 分明古領主ハ詳ナラズ駒岡村ト唱ヘシヨシ中  
 古上杉ノ旗下南條駿河守ノ領セシヨリ今ノ村  
 名ナハルナリ後堀家ヨリ代スラヘテ今ニ至

今熊打  
 所方北ヨリ西ノ方拾五丁ニアリ東西五十間南  
 北五十間教世四行南背七十シカラズ  
 金剛院  
 元來農夫多ク山ノ空永年  
 正院ニ設身ニ教學  
 林支那







城郡ノ菅原ノ社社内ノヨリ遷ストナリ後大破

ニ及シテ文明四年是尾左衛門景信此人法名ヲ昌賢ト云

修理シ田畑神具等寄附セラル後南條駿河守モ

崇敬シテ寄附等アリシトナリ祭日八月廿五日

本社 一間三尺一間 ○扇ヶ谷ノ是尾左衛門尉景仲子ニ是尾

拜殿 二間三尺二間 四郎左衛門景春ノ又ナリ

神寶

木像五軀三寸或ハ四寸餘ノ物古来ヨリ傳ル處

ナリ何ノ像ト云テ詳ナラス又丸キ木ニ唐銅ノ

薄キ金ヲ付鏡ノ如キモノニ像ヲ圖スルト云ヘ

凡詳ナラス北條村御嶋石部神社ノ神宝ニ圖ス

ル物ト同シモノナリ

寺院

正雲寺 境内東西廿二間南北二十間

村ノ西端ニアリ曹洞宗ニテ神宮山ト云フ北條

村普廣寺ノ末山ナリ開基ハ永禄五年普廣寺ノ

人安和尚ノ開基ニテ南條駿河守ノ菩提所ナリ

シニ其後暫大破ニ及フ普廣寺ノ芳秀和尚ト云

僧延宝八年再造ス

客殿 五間五尺ニ八間萱葺本尊聖觀世音木佛



坐像長八寸服士不動毘沙門共三木佛五像

長九寸三軀共行基ノ作

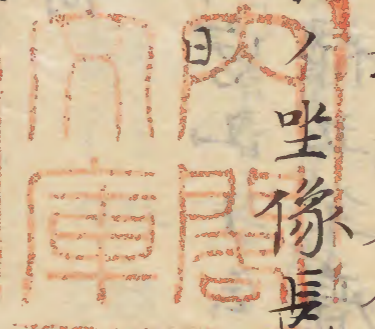
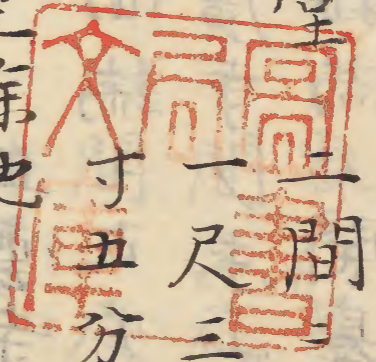
庫裡 四間三尺二六間三尺蓋音

十五堂 二間三尺木尊地藏木佛五像長

一尺三寸二分十五木ノ坐像長一尺五

寸五分緣日九月十六日

免除地



天滿宮 正雲寺 十五堂

Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like '天滿宮' and '正雲寺'.



